

福岡県スクールソーシャルワーカー協会発足

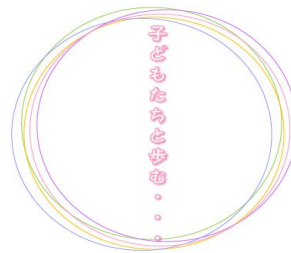
福岡県でのスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）の研修機会として、2010年7月に「福岡県・学校ソーシャルワーク研究会」を発足し、近隣のSSWの方々や学校関係者等の参加も得て、学びや交流を深めてきました。一方、福岡県内のSSW事業も県教育委員会のみならず、市町教育委員会においても事業開始が増え始め、年々、SSWの人材派遣と養成が求められる状況となってきました。このような状況を踏まえ、福岡県内のSSWが結集し、一丸となってSSW事業を発展させていくことを目標に、このたび、2012年6月に「福岡県スクールソーシャルワーカー協会」を発足する運びとなりました。そして、協会発足後、早1年が過ぎようとしています。この間、各事業担当者による創意と活発な活動で多様な取組を行ってきました。協会の目的は、福岡県のSSW事業の発展に大きく貢献していくことです。あわせて、協会のメンバーたちのエンパワメントの機会として、海外とのつながりも広げていきたいと考えています。協会活動がSSWたちにとって負担になることなく、共に創り、共に学び、共に楽しんでいける組織になっていければと思っています。何卒、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

福岡県スクールソーシャルワーカー協会会長
門田光司（久留米大学）



福岡県スクールソーシャルワーカー協会

Fukuoka Association of School Social Workers



第1回研修会開催

平成24年12月22日（土）、クローバープラザにおいて、第1回研修会が実施されました。はじめに、本協会副会長である福岡県立大学の奥村先生から「学校ソーシャルワーク実践における教育保障とは」というテーマで会員限定の専門研修を実施して頂きました。「教育」という言葉の成り立ちを解説して頂いた上で提示された事例について参加者がグループ討議を行い、互いに報告を行いました。普段何気なく使っている「教育」という言葉の意味について考えさせられる重要な機会となりました。

つづいて、本協会会長である久留米大学の門田先生から「今、私たちスクールソーシャルワーカーが目指すもの」というテーマでご講演を頂きました。なんと、この時には、NHKによる取材（！）も行われました。まず、海外のSSWの動向をお話していただきました。その上で、日本の学校で求められるソーシャルワーク実践を開発し、実践していくことが必要であるとお話して頂きました。そうした状況に、SSWとして応えていくため、ひとりひとりの現任者が、自己研鑽を積むことが重要であり、互いの実践から学びあうことも重要であるとお話して頂きました。

そして、研修会後は、前身の裏・研究会より、さらにパワーアップ(?)した裏・研修会が、クローバープラザ近くの「博多厨房とうりもん」にて行われました。新たな顔ぶれも交えた会は、研修会にも負けない盛り上がりを見せました。途中、全員のワンセグを駆使し、研修会の様子が放映されるNHKのニュースを見る一幕もあり、エリア、職域を越えた協会の良さを感じることもできる時間でした。当日は、SSW現任者に限らず、教職員、大学生、他職種の方々等、多くの方々に参加していただき、非常に熱気ある研修会となり、福岡県の学校ソーシャルワークの夜明けとなる記念すべき1日となりました。 研修事業：池田敏

日韓 スクール ソーシャルワーカー セミナー

平成25年2月16日に日韓スクールソーシャルワーカーセミナーが開催されました。韓国からは、朴元会長をはじめ韓国SSW等総勢12名の方々が来日されました。



1日目



セミナーでは、日本代表として高口さんより「学校暴力とSSWの職務～学校暴力とリスクカットを繰り返す女子生徒への介入～」をテーマに、山崎さんより「学校全体の暴力の取り組みの支援に対するSSWの役割」をテーマに報告をして頂きました。



一方、韓国代表のお二人からは、前半に学校暴力を含めた韓国における教育の現状と課題についての報告、後半に韓国SSWの現場での実践をテーマにグループワークを導入したご報告をして頂きました。



グループワークでは、日本のSSWのメンバーらがグループとなり片言の英語を使いながら笑顔でワークを行う姿がみられました。

2日目



二日目は、子どもの村福岡の坂本村長より、「A loving home for every child -すべての子どもに愛ある家庭を-」をテーマに海外のこどもの村のについてと日本のこどもの村についてのご報告を頂きました。



坂本村長自ら、子どもの村内見学にご同行頂き、各場所をご紹介頂きました。

3日目



三日目は、福岡市立城香中学校に訪問しました。城香中学校では、中学校の現状についてのご報告やSSWとの連携についてご報告頂きました。



次に教室見学では、先生方々をはじめ中学生たちにあたたかく韓国メンバーを迎えて頂きました。

そこでは、中学生が英語や韓国語を駆使しながら韓国メンバーと交流する場面がみられ終始笑顔がたえない時間となりました。

ENJOY TIME



今回の日韓スクールソーシャルワーカーセミナーをはじめ、3日間の日韓SSW交流では、たくさんの笑顔に包まれた和やかな時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

交流においては、やはり言葉の違いで四苦八苦することもあったかと思いますが、そこはSSWの皆さまの多様な卓越されたコミュニケーション力で繋がり、交流をされている場面が随所でみられました。

だからこそ、そこには笑顔がたくさんあったのかもしれません。

もちろん、お互い志すものが一緒ということもあり、言わなくても通じる何かがあったのかもしれません。

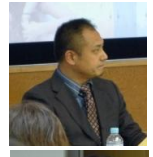
改めて、人と人との繋がりのあたたかさをたくさん実感することができる機会となりました。

広報啓発事業：蒲池恵



日本学校ソーシャルワーク学会
九州沖縄部会
第5回大会

高等学校におけるスクールソーシャルワーカーの
配置の推進に向けて



日本学校ソーシャルワーク学会 九州沖縄部会 第5回大会開催

平成25年2月11日(月)に福岡市健康づくりセンター(あいれふ)にて日本学校ソーシャルワーク学会九州沖縄部会第5回大会が開催されました。本協会も共催として関わらせて頂きました。

前半の基礎演習では、岩永靖氏(九州ルーテル学院大学准教授)をはじめとした熊本メンバーの方々より、「真のニーズに向かうためのファーストインターベンション」をテーマにグループワークを取り入れた研修を行って頂きました。

後半のシンポジウムでは、「高等学校におけるスクールソーシャルワーカーの配置の推進に向けて」をテーマに土本功氏(福岡県立博多青松高等学校校長)、原田剛志氏(パークサイドこどものこころクリニック院長)、梶谷優子氏(福岡市教育委員会他スクールソーシャルワーカー)の3名よりご報告を頂きました。3名それぞれの立場より、高等学校におけるスクールソーシャルワーカー配置に向けた期待や活用の実際についてご報告頂くことで、さらなる高等学校におけるスクールソーシャルワーカーの発展の兆しを実感する機会となりました。
広報啓発事業: 蒲池恵

Pieces

Piecesでは、SSWに関わる方々を、
リレー形式でご紹介していきます!

J O I N U S

野中 勝治

苅田町教育委員会
築上町教育委員会
春日市教育委員会
福岡県教育委員会
スクールソーシャルワーカー

『原動力』

児童相談所での相談業務を経て、SSWとなりはや5年が経つ。多くの人たちと出会い、また多くの経験をする事が出来た。オーバーワークとなることは多々あったが飽きることはなく、辞めたいと思ったことも一度もなくこの仕事が好きであると言える。

「なぜこの仕事が好きなのか」をよく聞かれる。それは私自身が小さい頃から多くの人に支えられていまいがあり、その人たちから「恩返しではなく、いまの子どもたちに還元を下さい」と言われたことがいまも心に強く残っている。それが私の「原動力」である。

SSWそれぞれの「原動力」は異なるが1つとなることで大きな力となると思う。これからも子どもたちや家庭、学校のさらなる「原動力」となるように頑張っていきたい。



NONAKA KATSUJI

次回は、山崎千栄子さんの登場です!!

FASSW INFORMATION

平成25年度初任者研修開催

日時:平成25年4月13日(土)

時間:10:00~17:00

場所:久留米大学 福岡サテライト

詳細につきましては、後日改めてご案内します。

第2回FASSW大会開催

日時:平成25年6月22日(土)

詳細につきましては、後日改めてご案内します。

編集担当 : 広報啓発事業
蒲池 寺田 森山

お問い合わせ
福岡県スクールソーシャルワーカー協会 事務局
〒825-8585
福岡県田川市大字伊田4395番地
福岡県立大学 人間社会学部社会福祉学科
奥村研究室気付(担当/奥村)
Tel/Fax 0947-42-1425
E-mail k.okumura@fukuoka-pu.ac.jp

